

ひろば

大代

S62.7.25

大代公民館

青少年を非行から守る
全國強調月間を迎えて

少年輔導委員 渡 敏 昭

子供達の非行防止対策もさることながら、善行をたたえ助長する事も健全育成を計る要諦となりましょう。町の中で逢う毎に大代の生徒さんが「帰りました」と全員あいさつをされるのは感心しました……。これは去る五月下旬、大田市内のある局長さんが私の宅に来訪され、帰宅後寄せられた礼状の一節です。

大田の町の中の子供にくらべ大代の子供達の心掛けの良さが脳裏に強く残つておいでの様子がうかがわれ、嬉しく思いました。これにつけ大代の子供達の心掛けの良さはもとより、学校の教えの行き届いた状況も察せられ有難いと改めて感服した次第です。

あいさつは自分から頭をさげる謙虚な姿勢が美德ある行為とされています。

『稔るほど頭をさげる稻穂かな』と言ふ諺が昔から伝えられています。これは、よく稔った稻ほど穗先が重いので低くたれる如く、心豊かな人ほど感張らず謙虚であることを教えたもので、私共に教養ある社会人であれと呼びかけています。

七月は『青少年を非行からまもる全国強調月間』です。月間の重点目標は『県民の非行防止意識の高揚』など四項目があげられていますが、青少年の健全育成のために非行防止活動と併行し、行き届いたしつけを備え、美しい社会環境の中で子供達をすくすくと育っていく事が大切ではなかろうかと思います。

いきいき



町づくり座談会

去る6月25日、市内のトップを切つて市長を初め約一二〇名の方が出席、例年にない活気で盛り上りました。

初めて昨年行われた老人の為の明るい町づくり推進事業のビデオが上映され、続いて意見交換に入りました。

最初は渡寿会長より大代町老人ホームの建設について要望がありました。市長の答弁によりますと市内人口平均の18%を越す老人の増加は大切な市政のポイントになつてゐる。要望の高まる中で、健康である時のホーム（休養的）か或は病氣の場合必要とするものか主旨に附つて検討したい。

次いで田辺孝氏より、①花一ぱい運動が推奨されているが、子供達に或は大人にも農業大学の園芸部、美化部などへ体験学習を与えて頂く機会を造つて欲しい。そして、ゆとりや思いやりの心を育てる事も大切である。

②姉妹都市との交流、又国際的にも考えられつゝあるその後の経過を質問。

①については、(1)集団学習について良い機会を造りたい。(2)県は東洋一大規模植物園造りの夢は持つてゐるが、場所。内容など検討の中で実現の運びに至つていらない。(2)韓国との間に考えは進められつゝあるが、現在のところ韓国の政状とそのなり行きを見守つてゐる。

次いで藤井婦人会副会長より最近の農政について、減反政策が強化され、

自家消費農家にまで減反の割当を受けている不合理、転作・他用途米制度などについて、条件的にも可能とされる平坦部との話し合いにより、交換的優遇措置は出来ないか等、山間部農業の前途について希望的意見が述べられた。又公民館へ検診車進入に障害となつてゐる入口附近道路勾配を改善、設計を要望、更に身体障害者にも参加利用出来る進入路を設置して欲しい。

積雪の多い大代町へ生活路線として大切な市道の除雪について配慮を考え直して欲しい等々幾多の要望対話が続きました。

学校統合問題も話題に上り横手父母の会々長より、兎角一般論・財政面からのみ考えられているが大代中学の場合、①通学の距離が余りにも遠い。②冬期の積雪とカーブなど道路条件。③物心に亘る父兄負担の増大、クラブ活動の低下など、賛成するには問題が多いなどの理由から反対の意見が述べられた。PTA会長からは管外からの山村留学制度について質問があつた。教育長は教育行政から統合に関する基本の方針を変更する考え方はないが、

の前途について希望的意見が述べられた。又公民館へ検診車進入に障害となつてゐる入口附近道路勾配を改善、設計を要望、更に身体障害者にも参加利用出来る進入路を設置して欲しい。

積雪の多い大代町へ生活路線として大切な市道の除雪について配慮を考え直して欲しい等々幾多の要望対話が続きました。

学校統合問題も話題に上り横手父母の会々長より、兎角一般論・財政面からのみ考えられているが大代中学の場合、①通学の距離が余りにも遠い。②冬期の積雪とカーブなど道路条件。③物心に亘る父兄負担の増大、クラブ活動の低下など、賛成するには問題が多いなどの理由から反対の意見が述べられた。PTA会長からは管外からの山村留学制度について質問があつた。教育長は教育行政から統合に関する基本の方針を変更する考え方はないが、

年を追つて減少する生徒数、之に伴う教員も亦減員させられる事になり、将来好ましくない結果に至るなどと応待、町の将来に大きな不安を生じているのも事実の様です。

最後に永井自治会連合会長より、大田桜江線の早期拡張と大代町への延長実現を要請、現在の県道カーブ部分の削除と草刈、町民の綜合グランド建設、消防用貯水池の設置改善など町民の代表として幾多の要望が出され、午後五時直前終了致しましたが、本年は一〇〇名を越える皆さんの出席で市政の内容にも多くの方々に触れて頂く機会が出来て、有意義の一日で有つた様に思われます。

大代町健康体力造りの会 — 8月から発足 —



会事務局より

6月に入り昭和62年度に於いて大田市社会教育課の指導により、大代町へ健康新体力造り事業の指定を受けました。

主旨 町民相互の親睦・交流を図り乍ら健康な体力造りを目指す。

夫々四つの部門からなります。
事業費 約27万円

体育協会・婦人会・青年団・寿会・公館など代表者は体育担当者が集まつて事業の企画を致しました。

内容に付いては近くパンフレットにより配布致しますが、テニスを初めバレーボール、卓球、ゲートボール、フオーラダンス、ワンバンドバレー、登山、グランドゴルフ、合唱部門など多彩です。

役員は次の方が推薦されました。

会長(体協会長) 森田輝男

副会長(ゲートボール会長) 後藤正

皆さんのご参加をお待ちします。

統計から見た町民の健康診断

大代町は市内でも有数の成人病の多い町とされています。

その原因は、高令化、一人暮し、過重労働、栄養のアンバランス、農村独特の日常生活の無理から生じるものと思われ、高血圧症の多いのも特長です。数少ない受診、検診の機会を充分に利用して、自らの健康管理を行つて行く事は大切な事です。

睡眠・休養・栄養・運動は日常生活の上で必須の条件です。

の成績で、次の通りです。

◇大田市大会

総合優勝

大代中A

大代中B

個人 1位

個人 2位

2位

2位

3位

4位

5位

6位

7位

8位

9位

10位

11位

12位

13位

14位

15位

16位

17位

18位

祝全国高校総合体育大会出場(テニス)

△島根県大会 7月23・24日
於出雲市真幸丘テニスコート

個人・団体共、中国大会出場が決定
来る8月5日6日の両日、安来市で開催されます。

大田市総合体育大会へ(款式テニス)

去る6月12日、大田市営コートで行
われた市・総合体育大会に於て、大代

中学校は見事総合優勝の栄誉をかちと
りました。団体・個人共バーフェクト

	大田市			大代町			
年 脳	50	55	60	50	55	60	61
人 口	37471	38026	38239	999	895	846	—
世 帯 数	11057	11036	11493	931	913	801	—
出 生	467	457	403	11	4	9	5
死 亡	総数 がん 胃がん 子宮癌 脳卒中 心臓	892 72 35 3 101 58	400 94 36 2 78 77	377 98 22 — 78 71	11 0 — 2 2 —	14 4 2 0 4 2	11 1 1 0 5 2
一般 診査	628	912	3387	44	59	108	171
胃 がん	827	529	1877	48	85	63	—
子 宮 がん	749	862	4089	7	22	140	121
結 核	—	—	8521	—	—	292	—

(一社不明)

今回県代表として8月1日～4日、開催の全国高校総合体育大会(於北海道)へ栄ある出場が決定されました。

今とのところ大代町はテニスブームとなっています。

ご健斗をお祈りすると共に、皆さん

の熱いご声援を期待しています。

おしらせ

石見高山会の皆さんを始め地元の皆さんの御寄附を受け公民館の図書室も益々ふくれ上がりました。

利用者も最近は多く借用簿の方も一ぱいになっています。是非御立寄りの上ご利用下さい。

△御寄贈の御礼

図書箱 一個 渡 淳

大代婦人会からは座卓とん約六十枚
を会議用に

夫々御寄贈頂きました。厚くお礼を
申し上げます。

△あとがき

今月は8月に行われる都市とふるさとを結ぶ交流事業の企画、其の他事務の繁雑により「ひろば」の発行が大きく遅れ、深くお詫び申し上げます。

川上 渡 辺 成 二 君
山田 渡 利 浩 紀 君